



市民の願いにこころ寄せて議員活動に全力

日本共産党 京都市会議員

# 西村 善美 よしみ

2018年 2月18日(日)

議員活動報告 NO. 286号  
○西村事務所 右京区梅津高畝町 39  
Tel, FAX 872-9653  
○自宅 右京区梅津東構口町 17-405  
Tel, FAX 864-2009



### 憲法を守る署名取組む

嵯峨野・帷子ノ辻、大映通商店街入り口付近で、後援会の皆さんと「憲法9条を守る全国3000万人署名」署名に取り組みました。街頭での署名行動は、寒さ増すなかで短時間での取組みでしたが23人の方が応じました。



京都市敬老乗車証制度は、今年(平成30年度)も現行どおりの運用になることが分りました。  
京都市が実施する敬老乗車証制度を京都市が改悪しようとして計画している問題で2月8日、「敬老乗車証守る

## 敬老乗車証、今年も現行のまま

「市民連絡会」の皆さんが本日、第12回目の署名を京都市提出しました(上の写真)。署名数は37176筆となりました。



日本共産党京都市会議員団及び、同党京都府会議員団、同党京都府委員会は1月27日、「民泊と京のまちを考えるつどい」を開きました。市民や関係者など140人が参加しました。  
日本共産党の倉林明子参議院議員が開会挨拶をし、こくた恵二国会対策委員長・衆議院議員、くらた共子京都府会議員、西脇いく子京都府会議員が、それぞれの取組を報告しました。  
京都市は、住宅宿泊事業法に伴う条例制定等に向けて、2月市会に条例と新ルール等を提案。宿泊施設について、京都市にふさわしい民泊等の在り方を示しています。

## 市議団、違法民泊対策で集会

この日の署名提出の時、連絡会から、「新年度の制度改定について具体化はどうか」と聞いたところ、市側の担当者は「現段階で見直しの具体化はない」「制度はさらに検討していく」答え具体化案を示さず、現行制度どおりとなることが分かりました。  
8日の「敬老乗車証守ろう！連絡会」の市役所前で集会では、日本共産党京都市会議員団の北山ただお議員がマイクをにぎり、議会の報告と応援のメッセージを述べました。  
提出された署名は、12回にわたり合計で3万7176人分です。



しかし、周辺住民の安全対策、宿泊のルールなど不十分なところがあり、是正を求めて取り組んでいます。住民が住んで良し、観光客が訪れてよしのルールを作るため頑張っています。

## ゴミ不法投棄対策実現 御室

ゴミ不法投棄禁止を呼びかける看板が最近、設置されました(左の写真)。場所は御室の観光道路と交差して流れる水路です。



昨年、同署の近所の方から「水路にゴミが投棄されて困る。自分で清掃しているが、危なくてできなくなつたので、市で対応して欲しい」と言う要望が関係者から西村市議のところへありました。近くは御室仁和寺、竜安寺、金閣寺など世界遺産があり、多くの観光客が通行するところです。しかし、ゴミ袋を周辺に投棄していく者も多く、住民が自主的に清掃しています。水路が深く危険な作業で大変。議員は、京都市西部土木事務所へ改善を求めたところ、今年1月に写真の看板が掲げられました。  
看板設置でゴミ不法投棄が減ることを願っています。

## 御室の後援会総会で「市政報告」

「御室後援会の総会」が開かれ、西村議員が市政報告をしました(下の写真)。参加者は、地域要望を出し合い、学習、落語会など楽しみました(下の写真)。

報告は2月市会が予定されていることから、予算の特徴や地域の要望対策、国保料の課題、国の社会保障費削減の問題など話しました。  
また、府会議員からは4月に行われる京都府知事選挙について報告がありました。  
近くには世界遺産龍安寺(りょうあんじ)、御室仁和寺など観光地がある場所です。地域では高齢化がすすんでい

